



胡同の 理髮師

大都会・北京の喧騒のなか、
古き良き下町に暮らして九十余年。
チンお爺さんの静かな立ち居振舞いが
心にあたたかな余韻をのこしてゆく。

監督・ハスチョロー（哈斯朝魯）

プロデューサー・リ・シュイホー（李水合） 脚本・ラン・ピン（冉平） 撮影・ハイ・タオ（海濤）

美術・ジン・ヤン（金楊） 録音・リ・ジュジョン（李志忠） 作曲・チャ・カン（董晨）

出演・チン・クイ（陳奎）、チャン・ヤオシン（張耀兴）、ワン・ホンタオ（王洪涛）、ワン・シャン（王山）

製作・北京經典人文化伝媒有限公司

2006年／中国／1時間45分 ビスタ（28mm）／ドルビーS（R）／カラー 字幕翻訳 鈴木真理子 後援 中国大使館文化部
提供・アニメーション ネット 影プロ 太歳 フォーカス ビデオ チャーズ 配給 宣伝・アニメーション ネット <http://www.tiun-movie.com>



胡同の理髪師

三輪自転車が胡同をゆつくりとゆく。
乗っているのは、93歳の理髪師チンさん。
今日も昔からのお客さんの散髪に出かける。
北京の喧騒の中、チンさんの周りだけはゆったりとした時間が流れる。
友人とのマージャン、若者とのやりとり、肖像写真撮影、
チンさんの毎日は時にユーモラス。
ゼンマイ時計、薪ストーブ：
チンさんの身のまわりには使い慣れた昔からのものがいっぱい。
黒猫も金魚もチンさんの愛らしい家族だ。

悠久の都・北京
失われてゆく胡同(フートン)の歴史と
そこで暮らす人々の細やかな人情

近年、多様化を誇る中国映画界が、ひとときわ個性的で、心あたたまるヒューマン・ドラマを贈りだした。それが『胡同の理髪師』である。

中国・北京の旧城内を中心にそこかしこにある細い路地、胡同には、伝統的な建築様式で作られた庶民の古い家屋が建ち並ぶ。生活感に溢れ、古き良き都の情緒漂う地域として知られているが、オリンピックを控え、昔ながらの街並みはそこに住む人の細やかな人情とともに姿を消そうとしている。『胡同の理髪師』は、そうした時代の流れのなかで、胡同の一角に暮らす93歳の老理髪師の毎日をドキュメンタリータッチで描き、「豊かに生きる」ことの意味を私たちに問いかけている。

93歳の現役理髪師、チンお爺さん

こつこつと働き続けて81年
その静かな存在感が私たちの胸を打つ



チンお爺さんを演じるのは、実際に現役の理髪師である93歳のチン・クイ本人である。12歳から見習いとして働き始め、その道一筋81年の老理髪師である。

チンさんの毎日は、朝6時に起き、毎日5分遅れる古いゼンマイ時計を直し、銀髪にクシを入れ、身だしなみを整えることから始まる。午前中は三輪自転車で、古くからの顧客の家を訪問しては散髪する。午後は近所の人たちとマージャンを楽しみながら世間話をする。そして決まって夜9時には床に就く。映画のほとんどのシーンがチンさんの実生活を映し出している。

老境に入ることの寂しさも抱きながら、凜として自分の生き方を変えようとする。人生、日々是好日。今日もチンさんの一日が始まる。

監督：ハスチンロー(中国) 脚本：ランビン(中国) 撮影：ハイ・タオ(中国)
美術：ジン・ヤン(中国) 録音：リ・ジン(中国) 作曲：チャ・カン(中国)
出演：チン・クイ(中国) チン・ヤン(中国) 王・ホン(中国) 王・ホン(中国) 王・ホン(中国)
制作：北京經典文化伝媒有限公司
2006年/中国/1時間45分/ビスタ・シネマスコープ/カラー
字幕翻訳：鈴木真理子 後援：中国大使館文化部
提供：Zeebrネット、彩プロ、太秦、フォーカスビクター
配給・宣伝：Zeebrネット <http://www.tuton-movie.com>



❖ 岩波ホール創立40周年記念作品第2弾 ❖

**2月9日(土)より
ロードショー!**

岩波ホール

03(3262)5252 <http://www.iwanami-hall.com/>

●地下鉄(都営三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線)神保町駅A6 出口すぐうえ JR(中央線)水道橋または御茶ノ水駅・下車徒歩12分 ●神保町交差点角

特別ご鑑賞券 1,500円(税込)

ペア券 2,900円(お二人様・岩波ホール窓口のみ)

岩波ホールチケットガイド(ビル1F)の他、都内プレイガイドにて

●当日料金(税込)1,800円/シニア・学生1,500円【入替制/自由席定員制】

上映時間	月～金	11:30	14:30	18:30
	土・日・祝	11:30	14:30	17:30